

給与支払報告 に係る給与所得者異動届出書
特別徴収

記載例 (普通徴収)	〇〇市長殿		〔特別徴収者 給与支払者〕	所在地	〒400-0000 山梨県中央市〇〇△△1-2-3											特別徴収義務者 指定番号	※市町村ごとに異なります								
	令和 年 月 日提出			フリガナ												宛名番号									
				氏名又は名称	株式会社 〇〇△△□□											担連 当絡 者先	所属	〇〇課〇〇担当							
				個人番号 又は法人番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	電話	〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 内線 ()						
給与 所得者	フリガナ	チュウオウ タロウ											(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異 動 日	異 動 の 事 由	異動後の未徴収 税額の徴収方法							
	氏名	中央 太郎																							
	生年月日	昭和 62年 1月 1日																							
	個人番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1							2						
	受給者番号	※各事業所により付番																	6	9	令和〇	1	1. 退職 2. 転職・長 3. 死亡 4. 支払少額・不定期 5. 合併・解散 6. その他 7. その他 〔事由・理由〕	3	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)
	1月1日現在の住所	山梨県中央市〇〇△△301-1																	8	5	〇	8			
異動後の住所												31	日	1	月										

1. 特別徴収継続の場合

新しい 勤務先 (特別徴収義務者)	特別徴収義務者 指定番号	〔新規〕 法人番号											新しい勤務先へは、月割額_____円を			
	所在地	〒											_____月分 (翌月10日納入期限分) から			
	フリガナ	担 所											徴収し、納入するよう連絡済みです。			
	氏名又は名称												受給者番号			
納入書の要否 (新規の場合のみ記載)														右から 番号を 記入		

8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分から普通徴収に変更する場合。

(ア) 特別徴収税額 (年税額) 120,000円 (6月から翌年5月分)

(イ) 徴収済額 30,000円 (6月から8月分)

(ウ) 未徴収税額 90,000円 (9月から翌年5月分)

↑

普通徴収税額 (本人納付)

2. 一括徴収の場合

理由	1. 異動	右から 番号を 記入												左記の一括徴収した税額は、		
	2. 異動のため													_____月分 (翌月10日納入期限分) で 納入します。		

3. 普通徴収の場合

理由	1	1. 異動が令和〇年12月31日までで、一括徴収の申出がないため											※市町村記入欄
		2. 令和〇年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額 (ウ) 以下である											
		3. 死亡による退職であるため											